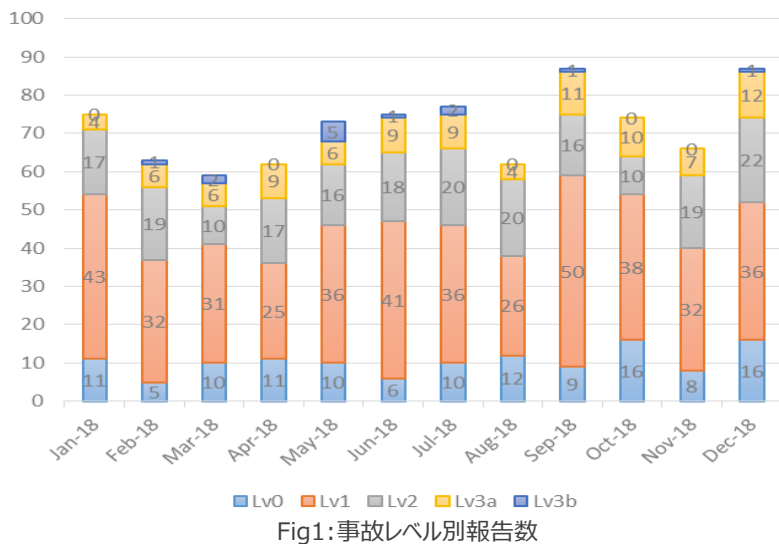


# 3分で読める 医療安全ニュース 9期/7号

## 事故報告書から

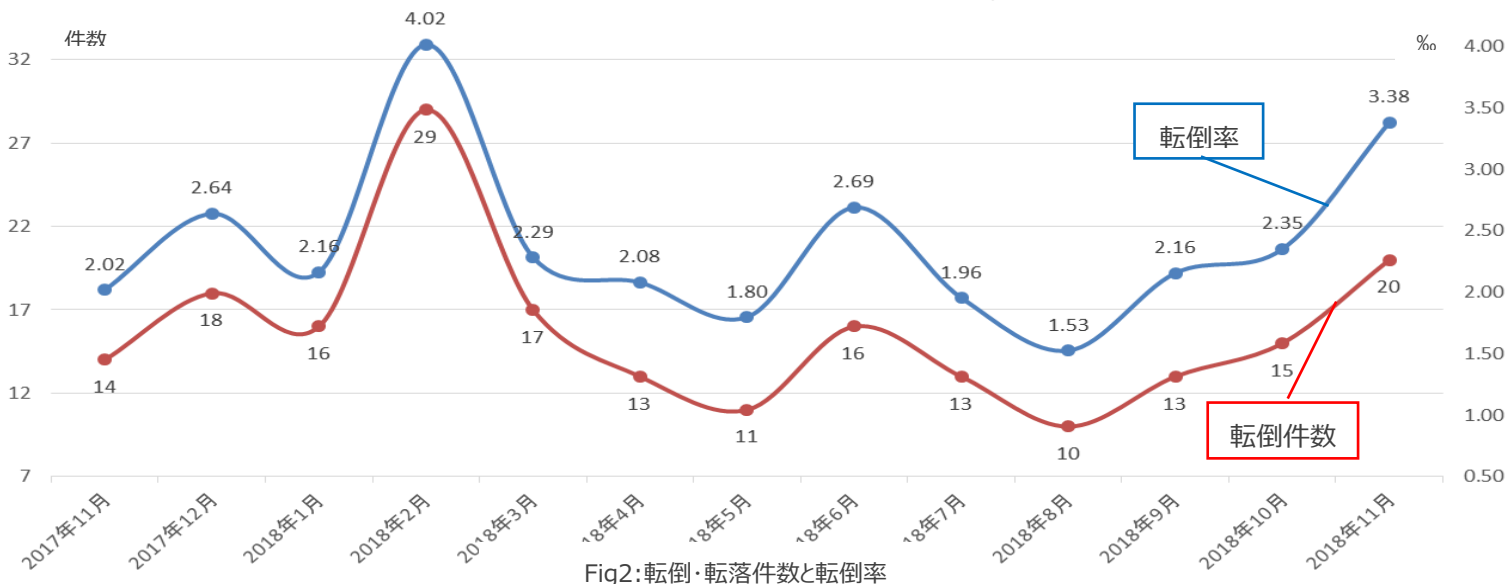


### ● 2018年1月～12月の事故報告書から

1. 1年間での報告件数は925件でした。前年は832件であり93件増加しています。毎月発行されているイエローターをご覧ください。同じ事例に複数の関与者がそれぞれの立場で報告していただいている事例が増加しています。良い傾向であり引き続きよろしくお願いたします。
2. 事故レベル別報告数グラフ(Fig:1)では一時保存65件は分類できませんので省いており860件で作成されています。
3. レベル4以上の報告はありませんでしたが3b報告は13件で前年10件より増加しています。内訳は自己抜去による再挿管、再挿入が5件、転倒による骨折が3件、内服ミス、誤切除、リハビリ介入中急変、誤嚥による窒息、体位変換時の骨折がそれぞれ1件ずつです。

### ● 2017年11月～2018年11月の転倒・転落事例から

1. 13ヶ月での報告件数は205件でした。当院での転倒率(入院中の患者に発生した転倒・転落件数÷入院患者延べ数(人日)×100(%))単位はパーミル、転倒件数は下グラフ(Fig:2)で示すとおりです。期間中最大値4.02、最小値1.53、平均値2.39でした。
2. 当院の事例は多いのか少ないのか? ベンチマークとして全日本病院協会 HP(<https://www.ajha.or.jp/hms/qualityhealthcare/-indicator/42/>)にて公開されている「医療の質の評価・公表等推進事業」より2017年度17病院のデータを使用しました。最大値5.51、最小値1.36、平均値3.11でした。当院は転倒率では平均値より低く、累積確率で低い方から29%に属しているという結果でした。
3. 転倒・転落事例は複数要因が絡んでいることが多いのですが、中でも環境を整備することが防止対策や起こっても軽微にすませる為に有用であることはよく知られています。昨年8月から上昇傾向でもあり環境整備を含めた再発防止対策の実践をお願いいたします。



職員の皆様へ：お読みになりましたら下記へサインをお願いします。院内ラウンド時に確認させていただきます。

